

2021 年度夏期オンライン英語セミナーシリーズが開催されました

オンライン英語セミナーシリーズは東京大学医科学研究所 国際共同利用・共同研究拠点が、同拠点の採択研究に参画する大学院生や若手研究者が自身の研究を海外に魅力的に発信するスキルを学ぶことを目的に、科学英語のスペシャリストである静岡県立大学准教授のフィリップ・ホーク (Philip Hawke) 先生を講師にお招きし、主催しています。

本セミナーシリーズでは、ホーク先生が日本で25年間にわたり科学英語教育に尽力される中で特に重要と考えられる分野として「Presentations」「Oral Communication」「Writing」の3テーマが選ばれ、昨年度と同様に各回、テーマ毎の教材をもとに1時間の講義が行われました。

静岡県立大学
フィリップ・ホーク准教授



シリーズ初日となる6月25日は、英語で伝える・伝わるプレゼンテーションスライドの作り方と発表方法について学びました。ホーク先生は、まず「なぜ自身の研究が重要か」を明確にすること、発表スライドにはシンプルな表現・文法を用いること、スライドタイトルに情報を盛り込むことが重要であると伝えました。また、口頭発表には正しい発音とアクセントが鍵であり、抑揚に注意を払いながら実際に声に出して練習することの必要性を伝えました。

Online English Seminar Series 2021

Hosted by IMSUT International Joint Usage/Research Center Project

Online via Zoom

1st	6/25 Friday	13:00-14:30	Presentations - Improving slide design and research story - Script writing, pronunciation, and performance - Discuss your own presentation with others
2nd	7/2 Friday	13:00-14:30	Oral Communication - Presentation Q&A survival skills - Discussion strategies - Self-introductions and conference reception chat
3rd	7/9 Friday	13:00-14:30	Writing - Structure and grammar patterns of academic papers - Editing tense, collocations, and articles - Academic emails and CVs

Individual Consultation Session

In each seminar, the Main Session will be followed by an optional 1-hour Individual Consultation Session in which participants can ask Prof. Hawke questions about their own presentations, speaking, and writing.

New!

Registration Free

Intended for Graduate students/researchers who belong to IMSUT or who are associated with the joint research organization of the project adopted by the IMSUT International Joint Research Project interested in learning and who have intermediate to advanced scientific English communication skills.

Lecturer Prof. Philip Hawke

Associate Professor
Scientific English Program
School of Pharmaceutical Sciences
University of Shizuoka

Application Form

シリーズ2日目の7月2日は、学会参加時に役立つコミュニケーション方法として、効果的な自己紹介から質疑応答のテクニック、レセプションでのネットワーキングのコツなどを学びました。参加者はZoom ブレイクアウトルームで少人数グループに分かれ、実際に自己紹介等を練習しました。

最終日の9日は、科学論文を書くために基本となる時制や連語、冠詞などを学びました。特に、英語学習者の多くが難しさを感じる「a」「the」についてホーク先生は、基本原則の捉え方と代表的なパターンを挙げ、参加者は先生から出された練習問題にクイズ形式で取り組みました。

今回は初の試みとして講義後に任意参加の個別相談セッションが開催され、参加者それぞれが抱える疑問や悩みを先生に直接相談しました。1人あたり30分から1時間の個別相談セッションでは、参加者は自身の発表資料を先生と画面共有しながらスライドデザインや英語表現、文法、発音へのアドバイスをもらったり、海外生活での留意点やEmailでやり取りする際のマナーなど、多様な相談に対し助言を受けたりしました。

参加者は、博士後期課程の学生から教授に至るまで多岐に渡りましたが、セミナー後のアンケートでは「医学系に特化した英語セミナーなので非常に有益だった」「発表スライドを改善できた」「資料が分かりやすかった」などの高評価コメントが多く寄せられました。

次回の2021年度オンライン英語セミナーシリーズは、9月から12月にかけて開催予定です。次回セミナーはセミナー形式ではなく、今回、参加者からの非常に評価が高く再開催が望まれた個別相談セッション形式で構成される予定です。参加者は希望の日時にセッションを予約し、ホーク先生と1対1で英語に関する相談をすることができます。

※ 応募方法やセミナー詳細は近日中に公開される予定です